

豊野地区公民館・藤塚公民館

◇運営の基本方針

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることができる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

◇重点施策

- 1 地域住民の学習ニーズを把握し、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
- 2 青少年の健全育成を図るため、学校週5日制に対応した各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用したさまざまな学習を展開する。
- 3 地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

◇重点事業

- 1 チャレンジ教室
- 2 必ず役立つ入門講座
- 3 子育てふれあいサロン
- 4 豊野地区体育祭・豊野地区文化祭

豊野地区公民館

所在地 〒344-0013 春日部市銚子口999番地
豊野市民センター内

T E L・F A X 048-735-0009

E-mail toyonokou@city.kasukabe.lg.jp



豊
野

藤塚公民館

所在地 〒344-0011 春日部市藤塚1670番地1

T E L・F A X 048-735-2528

E-mail fujitsukakou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	隅田松千代
	主査(兼務)	坂巻昇
	主任(兼務)	大川裕之
	主任(兼務)	斉藤律子
	主任(兼務)	根本崇
	フルタイム(兼務)	小堀昭
	フルタイム(兼務)	下妻真弓
	フルタイム(兼務)	大野麻須美

豊野地区 1

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対象	豊野地区・藤塚 公民館の利用者 と利用予定者		定員	-
ねらい	公民館利用に関する意見交換やクラブ・サークル同士の交流を通じて、地域におけるよりよい公民館活動のあり方を考える。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の 目標No	4.11.17		
会場	豊野地区公民館 講堂		教材 資料等	会議資料、公民館利用団体票、 公民館へのご意見・ご要望			
実施までの 経過	12月20日(金) 実施内容を決裁 1月1日(月) 公民館だより1月号 に掲載 1月4日(土) 案内通知の配付		PR方法	公民館利用団体へ通知等を窓口 配布 公民館だより1月号に開催告知 を掲載			
			受付方法	当日会場で受付			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
1月31日(金)	13:50~14:20	公民館の利用について サークル・団体の運営 について 公民館利用申し込み方法 について	説明	5	22	27	公民館職員
1回	30分			5	22	27	
企画運営上 の工夫	公民館の施設利用についての説明のほか、公民館使用申込み方法などの説明も 行った。 人権教育研修会(ビデオ視聴)と消防訓練を併せて実施した。						
成果 参加者の 声など	施設の充実等の要望が寄せられた。						
課題と展望	今後も公民館運営について、利用者の意見や要望を伺う機会として実施してい きたい。						

事業名 テーマ	小・中学生期合同家庭教育学級		対象	豊野地区小・中学生の保護者、 関心のある方		定員	100名
ねらい	子どもの発達段階に応じた課題に対する親の在り方を考えるとともに、家庭の役割について認識を深める。						
協力機関 及び団体	主催：豊野小、藤塚小、牛島小、豊野中、 豊野小PTA、藤塚小PTA、牛島小PTA、 豊野中PTA 託児協力：更生保護女性会豊野支部		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4.11
会場	豊野地区公民館 講堂		教材 資料等				
実施までの 経過	PTAと調整の結果、令和6年度は 中止		PR方法				
			受付方法				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
企画運営上の工夫							
成果 参加者の 声など							
課題と展望	4校のPTA会長との打ち合わせを行ったが、役員に担当者を配置してなく、令和6年度は中止となった。						

豊野地区 3

事業名 テーマ	子育てふれあいサロン		対象	0歳～5歳児とその保護者		定員	5～10組	
ねらい	乳幼児の自由な遊び場として、また育児への不安や悩み、ストレスの解消のための保護者の交流・情報交換の場として開設する。							
協力機関 及び団体	更生保護女性会豊野支部		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館 講堂・和室 藤塚公民館 大会議室・和室		教材 資料等					
実施までの経過	順次、講師打合せ 事業内容確定後、開催周知		PR方法	公民館だよりに記事掲載 子育て情報メール配信				
			受付方法	事前申込み制				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
5月16日(木)		ママヨガ&ベビーマッサージ	中止				ヨガ講師	
7月18日(木)	10:00～11:30	だっこフラ		1	1	2	フラダンス講師	
9月19日(木)	10:00～11:30	親子で楽しく♪リトミック		2	6	8	リトミック講師	
12月19日(木)	10:00～11:30	クリスマス会		5	7	12	保育士	
1月23日(木)	10:00～11:30	みんなで遊ぼう		1	5	6	リトミック講師	
3月13日(木)	10:00～11:30	大きな絵本の読み聞かせと手遊び		1	5	6	庄和図書館職員	
小計	7時間30分			10	24	34		
4月23日(火)		折り紙でかぶとづくり	中止				豊野折り紙サークル	
6月25日(火)	10:00～11:30	みんなで遊ぼう		5	15	20	リトミック講師	
8月27日(火)	10:00～11:00	ママヨガ&ベビーマッサージ		0	4	4	ヨガ講師	
10月22日(火)	10:00～11:30	親子で楽しく♪リトミック		1	1	2	リトミック講師	
11月26日(火)		子育て練習講座/わくわく!リトミック	中止				リトミック講師	
2月25日(火)	10:00～11:30	折り紙でお雛様をつくろう		1	1	2	豊野折り紙サークル	
小計	5時間30分			7	21	28		
9回	13時間00分			17	45	62		
企画運営上の工夫	予約定員制とし、来場者（子供の年齢層など）を把握した。状況によっては、当日参加も可とした。 講師には事前に参加人数やこどもの年齢層を伝え、参加した親子が楽しめるプログラムを組んでもらい、実施した。							
成果参加者の声など	参加者からは、「いろいろな音楽にふれて楽しく過ごすことができました」「親子で体を動かしてよかったです」など、大変満足した、また実施して欲しいという意見が多かった。							
課題と展望	参加者が少しでも子育てに対する不安が解消できるような居場所の提供を心掛ける。							

事業名 テーマ	みんなでピンポン		対象	一般		定員	16名	
ねらい	子どもから大人までが自由に卓球を楽しめる機会をつくり、卓球を通じて交流・親睦を深めるとともに、健康の増進を図る。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	学校週5日制対 応事業		SDGs の 目標No	3.4.11	
会場	豊野地区公民館 講堂		教材 資料等	卓球台・ネット・ラケット・ ボール				
実施まで の経過	3月1日(金) 公民館だより3月号 掲載		PR方法	公民館だより掲載				
	4月2日(火) 参加者募集・受付 10月1日(火) 参加者追加募集		受付方法	事前申し込み制				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月6日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	3	5	8		
4月20日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	3	8	11		
5月11日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	4	8	12		
6月1日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	3	6	9		
6月15日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	3	6	9		
8月3日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	7	12		
8月17日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	6	11		
9月21日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	8	13		
11月16日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	6	11		
12月7日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	6	11		
12月21日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	4	8	12		
1月11日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	4	7	11		
2月22日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	5	8	13		
3月15日(土)	10:00~12:00	みんなでピンポン	体験	6	10	16		
14回	28時間00分			60	99	159		
企画運営上 の工夫	全世代を対象にした講座を企画し、体験学習の機会を設けた。 10:00~12:00に開催、15分競技しその後、5分の休憩時間をとった。 怪我防止のため準備運動(ラジオ体操等)の時間も設けた。							
成果 参加者の 声など	参加者は集中して真剣に、かつ楽しんで取り組んでおり、大変好評であった。							
課題と展望	多くの参加者に卓球を楽しんでもらえるよう、他の事業の開催日と調整しながら実施していきたい。							

事業名 テーマ	ふれあい教室		対象	一般		定員	講座により異なる	
ねらい	地域に根ざした学習機会をつくと共に、参加者同士の交流を図ることにより、地域の連帯感を高めることを目指す。							
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館 藤塚公民館		教材 資料等	折り紙・台紙等				
実施までの経過	順次、講師折衝 事業内容確定後、開催周知		PR方法	公民館だより掲載、館内ポスター掲示、チラシ配布				
			受付方法	各講座により異なる				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	合計		
7月3日(火)	13:00~16:00	サマーコンサート2024(藤塚)	鑑賞			109	市内の音楽家	
9月1日(日)	13:30~16:00	サマーミュージックフェスティバル	鑑賞	26	50	76	藤塚ウクレクラブほか	
11月29日(金)	10:00~12:00	押花のカレンダーづくり	体験	0	15	15	サクラ草押し花クラブ	
12月6日(金)	9:30~11:30	和紙で干支の巳(み)づくり	体験	1	16	17	豊野折り紙サークル	
1月30日(木)	10:00~12:00	楽しんで心の健康づくり	体験	2	17	19	日本レクリエーション協会 公認指導者	
3月1日(土)	13:00~15:00	豊野スプリングコンサート	鑑賞			118	市内外の音楽家	
6回	13時間					354		
企画運営上の工夫	<p>公民館利用団体に出演を依頼することにより、日頃の学習成果を発表する機会となるようにした。</p> <p>押花のカレンダーづくりや、和紙で干支の巳(み)づくりは、受付開始時にチラシと見本を窓口に表示し、参加者を募った。</p> <p>会場を1階講堂とし、高齢者が参加しやすいように配慮した。</p> <p>正月に向けて押し花のカレンダーづくり講習会や和紙で「干支」を作成する折り紙教室を実施することにより地域住民への学習・交流の機会を提供した。</p> <p>市内外の音楽家に出演依頼し感動を届けられるコンサートとなるよう努めた。</p>							
参加者の声など	<p>サマーミュージック「ムードがあり、情熱的で大変よかった」</p> <p>押し花カレンダー「丁寧に教えてもらえて楽しく作れた」</p> <p>和紙で干支づくり「いつも親切に教えて下さり、何とか作品を作ることが出来ました。又来年も参加したいと思います」</p> <p>楽しんで健康づくり「講師の説明がわかりやすかった」</p> <p>スプリングコンサート「楽しんで歌っているのが伝わって幸せになりました」</p>							
課題と展望	アンケート結果を踏まえ、初心者でも参加しやすい企画を来年度も継続し実施していく。							

事業名 テーマ	チャレンジ教室 オリジナルの万華鏡をつくろう	対象	小学生	定員	20名		
ねらい	子どもたちがオリジナルの万華鏡を作成することで、手作りの楽しさ・大切さを学ぶ機会として実施し、創造性を養うことを目的とする。						
協力機関 及び団体	共栄大学子ども教室サークル	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の 目標No	3.4.11		
会場	豊野地区公民館 講堂	教材 資料等					
実施までの経過	講師依頼 事前に講師打ち合わせ 共栄大学に補助依頼 公民館だよりに掲載 チラシを配布 受講者事前申し込み 色鉛筆等の材料購入 会場準備	PR方法	公民館だより7月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布				
		受付方法	事前に電話または豊野地区公民館窓口にて受付 先着順 当日受付				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
7月27日(土)	11:30~13:00	オリジナルの万華鏡づくり 出来上がった万華鏡鑑賞	体験	11	9	20	万華鏡づくり講師 
1回	1時間30分			11	9	20	体験のようす
企画運営上の工夫	小学校低学年の参加者が多く見込まれたことから事前に共栄大学の学生の補助を依頼しておいた。 当日は参加者に対して手厚い補助ができ、皆が万華鏡を完成することができた。						
成果 参加者の声など	「キラキラして楽しい、またやりたい」「自分の創造力が高められた」「万華鏡をのぞいてみたら宝石みたいだった」「ひとりじゃできないことができて良かった」「最初はむずかしそうだったけれど、やってみたらとても楽しかった」「来年も開催したら、またやりたい。楽しかった」といった声が子どもたちから聞かれた。						
課題と展望	事前予約定員制とし、来場者の人数を事前把握した。状況によっては、当日参加も可とした。 対象は小学生としたが、低学年で希望者は保護者と一緒の参加も可とし、参加した親子が楽しめるようにした。 小学1年生の参加者の中には難しく感じた子もいたので対象者の幅を絞るか、低学年に対する補助を手厚くして実施したい。						

豊野地区 7

事業名 テーマ	必ず役立つ入門講座		対象	一般		定員	各20名	
ねらい	日常生活に役立つさまざまなテーマを選び、日々の生活に活用できる学習の機会をつくる。							
協力機関 及び団体	行政デジタル改革課・共栄大学子ども教室サークル・春日部警察署豊野駐在所		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11	
会場	豊野地区公民館・藤塚公民館		教材 資料等	講座により異なる。				
実施までの経過	順次、講師折衝 事業内容確定後、周知 受講者受付		PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示、チラシ配布				
			受付方法	事前申し込み制				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	計		
8月30日(金)	10:00~11:40	スマートフォンの基本操作 インターネット接続 特殊詐欺教室 (豊野市民センター)	講義	6	3	9	共栄大学子ども教室サークル 行政デジタル改革課職員 春日部警察豊野駐在所	
								
8月30日(金)	13:30~15:10	スマートフォンの基本操作 インターネット接続 特殊詐欺教室 (藤塚公民館)	講義	3	12	15	共栄大学子ども教室サークル 行政デジタル改革課職員 春日部警察豊野駐在所	
2回	3時間20分			9	15	24		
企画運営上の工夫	スマートフォン体験教室は、行政デジタル改革課の職員を活用したが、講師のほか公民館職員が補助することにより参加者の疑問に答えることができた。							
参加者の声など	個人的にいろいろ教えていただき助かりました・孫のような方が丁寧に説明してくださいました、ありがとうございました・わかりやすい説明で役にたった・共栄大学の学生さんが個別に対応してくださりよく理解できたなど参加者の声が寄せられた。							
課題と展望	参加者のニーズに合った内容で企画、実施できるようにするため、日頃から公民館利用者等との情報の共有に努めたい。							

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用団体	定員	50名	
ねらい	豊かな人間関係づくりを目指して、様々な人権について認識を深める。						
協力機関 及び団体	社会教育課		特色 位置づけ		SDGs の 目標No	4.10.11	
会場	豊野地区公民館 講堂		教材 資料等	視聴覚センター所有の人権啓発 DVD			
実施までの 経過	12月20日(金) 実施内容を決裁 1月 1日(水) 公民館だより1月号に 掲載 1月29日(水) DVD借用予約		PR方法	案内通知 公民館だより 1月号掲載			
			受付方法	当日会場で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
1月31日(金)	14:25~14:55	DVD「聲の形」視聴	視聴	5	22	27	公民館職員
1回	30分			5	22	27	
企画運営上 の工夫	公民館利用者のつどいと同時に開催することにより、より多くの利用者に研修へ参加してもらえるよう配慮した。						
成果 参加者の 声など	障がいのある人について取り上げた。参加者のアンケートでは「大変満足」「おおむね満足」がほとんどを占めていたことから、人権について認識が深められたと感じた。						
課題と展望	今後も様々な人権について、認識が深められる機会を創出していきたい。						

事業名 テーマ	第16回 健康を考えるつどい 「健康食品の上手な利用法」		対象	一般		定員	150名	
ねらい	健康でいきいきとした生活を送るため、日頃の健康管理について考える。							
協力機関 及び団体	共催：社会福祉協議会豊野支部 協力：第7地域包括支援センター 日本薬科大学		特色 位置づけ	社会福祉協議会 と連携した共催 事業		SDGs の 目標No	3.4.11	
会場	豊野地区公民館 講堂		教材 資料等	レジュメ（講師用意）				
実施ま での経過	6月4日(火) 社協豊野支部理事会にて協議、講師依頼 7月18日(木) 社協豊野支部理事会で経過報告 8月22日(木) 社協豊野支部理事会で経過報告、参加者にポスター掲示、チラシ配架依頼 9月1日(日) 公民館だより9月号に掲載 随時 日本薬科大と打合せ		PR方法	公民館だより9月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布 地区自治会にてポスター・チラシの回覧				
			受付方法	当日会場で受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月26日(木)	13:30~15:30 15:30~16:00	「健康食品の上手な利用法」 福祉用具の展示 福祉総合相談コーナー	講演 体験	54	35	89	日本薬科大学教授 第7地域包括支援センター 	
1回	2時間30分			54	35	89		講演
企画運営上 の工夫	共催団体の春日部市社会福祉協議会豊野支部と協議を重ね、内容を決定した。包括的連携協定結大学を活用した講演会にした。日頃の健康や福祉について知識を深めるため、福祉用具の展示、福祉総合相談コーナーを設けた。							
成 果 参加者 の声 など	「品物を例に取り上げてわかりやすかった」「食生活について考える機会となりました」「医薬品と健康食品との区別がとてもわかりました、また飲み方によって効き目が変わることを知りました」などの感想があり、大変好評だった。							
課題と展望	講演内容や講師を検討し、有意義なつどいにしていきたい。実施にあたっては、公民館と社会福祉協議会とがそれぞれ役割を分担し、連携を密にして取り組んでいきたい。							

事業名 テーマ	令和6年度 豊野地区体育祭		対象	地区内在住・在勤者		定員	-
ねらい	地区内のスポーツの普及発展に努め、地区住民の健康増進及び親睦を図る。						
協力機関 及び団体	主催：春日部市・豊野地区自治会連 合会・豊野地区公民館・藤塚 公民館 主管：豊野地区体育振興会 後援：春日部市コミュニティ推進協 議会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の 目標No	3.17
会場	藤塚小学校 校庭		教材 資料等	プログラム・競技台本等			
実施まで の経過	5月19日(日) 市民体育祭実行委員会 6月15日(土) 正副会長及びスポーツ 推進委員合同会議 7月6日(土) 第1回実行委員会 7月28日(日) プログラム作成委員会 8月24日(土) 賞品選定会議 9月14日(土) 第2回実行委員会		PR方法	開催予告 公民館だより9月号掲載			
			受付方法	地区対抗種目を除き自由参加			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月13日(日)	9:00~15:30	地区対抗種目 7種目 自由参加種目 14種目 アトラクション ・豊野中吹奏楽部 ・豊野地区民踊連盟 ・防災PRコーナー	1280	1020	2300	 地区対抗リレー	
1回	6時間30分		1280	1020	2300		
企画運営上 の工夫	プログラムに企業等の広告を掲載し、広告収入を得た。収入は参加者への賞品費に充て、賞品の充実を図った。 賞品選定会議で、種目ごとの分担を決めて賞品の選定、購入にあたった。 「優秀な成績を収めた人の発表」として、豊野地区在住で県大会以上のスポーツ大会に出場して入賞した個人及び団体に表彰状と記念品を贈った。						
成 果 参加者の 声 など	昨年の5年ぶりの開催とは異なり、今年はスムーズに体育祭が進行した。						
課題と展望	参加団体から、地区対抗種目の選手がなかなか集まらないとの声がある。今後種目内容等を検討していきたい。						

事業名 テーマ	三世代交流スポーツフェスティバル		対象	小学生以上の市民	定員	-	
ねらい	地域に根ざしたスポーツの促進・普及及び市民の健康増進を図るとともに、三世代のきずなを深める。						
協力機関 及び団体	共催：豊野地区体育振興会 協賛：豊野地区民生委員・児童委員 協議会		特色 位置づけ		SDGs の 目標No	3.4.11	
会場	藤塚小学校 校庭・体育館		教材 資料等	スポーツ庁「新体力テスト」年 齢別平均値一覧			
実施ま での経 過	10月26日(土) 検討会 11月30日(土) 役員会 1月18日(土) 実行委員会 2月8日(土) 役員事前研修会 2月15日(土) 前日準備		PR方法	公民館だより1・2月号掲載 地区内自治会等にポスター掲示 公民館等でチラシ配布			
			受付方法	当日、自由参加			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
2月16日(日)	8:30~12:00	メインスポーツ 「バスケットボール体験教室」 スポーツギネス大会 大人も参加できる体力測定 コーナースポーツ	体験	160	140	300	さいたまブロンコス  バスケットボール 体験教室
1回	3時間30分			160	140	300	
企画運営上 の工夫	スポーツギネス大会・体力測定に係わる役員に必ず、経験者を配置したことか ら、スムーズな運営ができた。とん汁配布については、過去の実績をもとに具 材を調達した結果、ほとんど余ることなく調理できた。						
成 果 参加者 の声など	メインスポーツにBリーグ所属(さいたまブロンコス)の選手及びコーチに 来てもらい、たくさんの方の参加があり、とても好評だった。また、スポーツギ ネス大会・大人も参加できる体力測定・コーナースポーツとたくさんの、ス ポーツに触れ、「参加してよかった」「楽しかった」などの声があった。						
課題と展望	役員については、1週間前の事前研修、前日準備、当日と2週にわたる負担が 大きいと、関係者の負担を減らすような方法を検討する。とん汁の具材等、 費用が上がってきているので今後、調整が必要。						

事業名 テーマ	豊野地区文化連盟 サークル体験会		対象	一般	定員	-	
ねらい	豊野地区文化連盟会員によるサークル体験会を開催することにより、豊野地区文化連盟の周知を図るとともに会員同士の親睦をさらに深める。						
協力機関 及び団体	豊野地区文化連盟		特色 位置づけ	生涯学習	SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館 全館		教材 資料等	体験ブースにより異なる			
実施までの経過	4月27日(土) 文化連盟企画委員会 5月11日(土) サークル体験会代表者 会議		PR方法	公民館だより6月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布			
	5月31日(金) 加盟団体あて開催通知 6月1日(土) 館報6月号に記事掲載 6月28日(金) 前日準備		受付方法	当日、自由参加			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
6月29日(土)	9:00~11:00 11:00~13:00	芸術の部 芸能の部	体験 体験	2	32	34	酒井書道・サクラ草押 花クラブ・豊野俳句会 導引養生功とよのクラ ブ・フラカーネーショ ン・フラワイキキ・フ ラココナッツ・豊野地 区民踊連盟
1回	4時間00分			2	32	34	
企画運営上 の工夫	円滑に準備や運営を行えるように、企画委員会やサークル体験会代表者会議で豊野地区文化連盟会員相互による入念な意見交換を行った。 芸術の部と芸能の部を分けて実施することで各々の体験を行えるようにした。 芸術の部は研修室を使いブース形式で開設し、芸能の部は講堂で団体ごとに時間を決め、順番で実施した。 食生活改善推進員協議会豊野地区の協力により、クッキーとコーヒー販売を行った。						
参加者 の果 実な 声など	豊野地区文化連盟会員同士の親睦がより一層深まった。体験希望の参加者も多数来館し、学習機会を提供することができた。						
課題と展望	参加団体の増加には公民館利用団体の日頃の活動の活性化が必要であり、より多くの団体に公民館を利用していただけるよう努めていく必要がある。						



芸術の部 体験

事業名 テーマ	50周年記念 豊野地区文化祭		対象	一般	定員	-
ねらい	公民館利用団体をはじめ、地区内の芸能・芸術団体の活動成果を発表する場として、また地域住民のふれあいの場として開催する。					
協力機関 及び団体	豊野地区文化連盟	特色 位置づけ	かすかべ遊学 フェスティバル 参加事業	SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館 全館	教材 資料等	プログラム等			
実施までの経過	6月 8日(水) 遊学フェスティバル 参加事業申込 6月29日(土) 企画委員会 7月30日(火) 参加申込受付開始 9月 7日(土) 参加申込締切り 9月21日(土) 企画委員会 10月19日(土) 文化祭代表者会議 10月29日(火) 来賓招待状発送 10月31日(木) 市民活動総合補償保険申込 11月 1日(金) プログラム館内配架 11月 9日(土) 前日準備	PR方法	公民館だより 8月号参加募集記事掲載 公民館だより 11月号開催記事掲載			
		受付方法	文化祭実行委員の受付・接待係が一般受付及び来賓受付を行った			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	
11月10日(日)	10:00~15:30	芸能の部 芸術の部 体験の部 販売の部 軽食・クッキー・コーヒー 販売 豊野中学校生徒俳句展	発表 展示 体験 販売 販売 展示		334	団体11、個人1 団体11、個人3 団体2 団体2 食生活改善推進員協議会豊野地区 生涯学習市民推進員
1回	5時間30分				334	
企画運営上の工夫	参加団体から選出された実行委員が、受付・接待係、会場案内係、司会係、音響・進行係を分担し、責任者を中心に自主的に文化祭の運営に当たった。駐車場係を春日部交通安全協会豊野第一支部・豊野第三支部に依頼し、来場者の安全確保に努めた。50周年を記念して市内で活躍している団体・個人にゲスト出演を依頼し、舞台発表をさらに多彩で魅力あるものにした。					
成果参加者の声など	今年、昭和49年第1回文化祭から数えて50年の節目を迎え、50周年記念事業として盛大に開催した。企画委員会での協議をふまえて4団体1個人のゲストを招待した結果、大勢の来場者(昨年度比約58%増)にお越しいただくことができた。来場者には熱心に舞台発表・作品展示をご観覧いただき、日頃の学習・制作活動の成果を発表することができた。					
課題と展望	参加団体が固定化する傾向にあり、参加団体の増加につなげるまでには至っていない。参加団体の増加には公民館利用団体の活動の活性化が必要であり、より多くの団体に公民館を利用していただけるよう努めていく必要がある。					

事業名 テーマ	第5回 豊野キッズフェスタ		対象	小学生以下	定員	-	
ねらい	地域の子どもたちを楽しめる場を提供し、ものづくりなどの体験をとおして豊かな成長に寄与することを目的とする。						
協力機関 及び団体	更生保護女性会豊野支部、食生活改善推進員協議会豊野地区、豊野地区文化連盟、共栄大学子ども教室サークル、ボーイスカウト春日部第7団、豊野中学校ボランティア部、生涯学習市民推進員	特色 位置づけ	子どもの居場所 づくり	SDGs の 目標No	4.11		
会場	豊野地区公民館 全館	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	6月 順次、講師打合せ	PR方法	公民館だより掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布 豊野小・藤塚小・牛島小全校児童あてチラシ配布				
	7月 1日(土) 館報7月号に記事掲載						
	7月 順次、講師打合せ	受付方法	当日会場で受付				
	7月18日(木) 市民活動総合補償保険 申込						
	7月19日(金) 弁当注文(個数確定)						
	7月26日(金) 前日準備						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
7月27日(土)	10:00~13:00	モルック・レクリエーション クッキーづくり体験教室 ロープむすびゲーム いけばなづくり おりがみづくり ヨーヨー・スーパーボールすくい	体験	20	30	50	共栄大学子ども教室サークル 食生活推進員協議会豊野地区 ボーイスカウト春日部第7団 豊野地区文化連盟 豊野地区文化連盟 更生保護女性会豊野支部
1回	3時間00分			20	30	50	
企画運営上の工夫	小学生に楽しんでもらえる事業とするため、教育学部をもつ大学の子ども教室サークルと市内のボーイスカウトに講師を依頼した。 日ごろ公民館で活動を行っている食生活改善推進員協議会豊野地区・豊野地区文化連盟に体験教室の協力を依頼した。 子育てや生涯学習のボランティア団体・個人に協力を依頼した。						
成果参加者の声など	「むずかしいしたのしかったから、もう一回やりたいな」「クッキー作りが楽しかったので、またやりたいです」「小学生と大学生が遊べる機会はあまりないので、良い経験ができました」との声が寄せられた。						
課題と展望	アンケート結果を踏まえ、小学生でも参加しやすく、満足度を得られるような事業を展開していきたい。						

事業名 テーマ	生涯学習市民推進員企画 ①男の料理教室 ②公民館ロビー展		対象	一般		定員	①12名 ②-	
ねらい	①男の料理教室：自分の健康は自分で守るための献立を提供。 ②ロビー展：公民館活動等の成果の発表の場として、公民館1階ロビーを展示スペースとして活用する。							
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4.11	
会場	①実習室 ②1階ロビー		教材 資料等					
実施ま での 経過	①男の料理教室 5月11日(土) 生涯学習市民推進員 との打合せ(1回目) 11月7日(木) 生涯学習市民推進員 との打合せ(2回目)		P R 方法	①公民館だより12月号掲載 ②公民館だより11・2月号掲載				
	②公民館ロビー展 11月 豊野中搬入 12月 豊野小搬入 2月 藤塚小搬入		受付方法	①豊野地区公民館窓口若しくは 電話で受付、先着順 ②生涯学習市民推進員による選考				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月24日(金)	10:00~13:00	男の料理教室	講座	7	0	7	生涯学習市民推進員	
11月1日(金) ~11月29日(金)		豊野中俳句展示	展示				生涯学習市民推進員	
11月30日(土) ~12月25日(水)		豊野小俳句展示	展示					
2月1日(土) ~2月28日(金)		藤塚小俳句展示	展示					
4回	3時間00分			7	0	7	 男の料理教室	
企画運営上 の工夫	①男性の料理教室に絞り、料理の楽しさ・健康な食事の大切さについて学んだ。 ②春日部市生涯学習市民推進員指導の下、地区内小中学校から選考された俳句を、豊野地区公民館のロビーに各校1か月展示し好評だった。							
成果 参加者の 声など	①参加者から、今後もこのような料理教室等の企画がありましたら、参加させていただきたいと思います。おいしかったですとの感想があった。 ②各校からの選抜された作品で、子供らしい素晴らしい発想の俳句があった。							
課題と展望	生涯学習市民推進員と連携協力し、参加者のニーズに合った内容で実施していきたい。ロビー展については、学習スペース設置のため展示するスペースが少なくなってしまったので、混み合った展示になってしまった。							

事業名 テーマ	サークル体験月間		対象	一般		定員	-	
ねらい	豊野地区公民館・藤塚公民館のサークル活動の促進と利用の活性化を目指す							
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル		特色 位置づけ	サークルとの連携		SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館・藤塚公民館		教材 資料等	教材はサークルで準備				
実施までの経過	5月15日(水) 参加申込書配布 6月8日(土) 参加申込書締切 7月1日(月) 公民館だより7月号に サークル一覧を掲載 7月上旬 館内ポスター掲示		PR方法	公民館だより7月号掲載 館内ポスター掲示				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
8月1日(木) ~8月31日(土)		体験月間(豊野公) 体験月間(藤塚公)	体験 体験			9 14	各サークル	
						23		
企画運営上の工夫	入口と受付に「8月サークル体験月間参加団体一覧」のポスターを掲示した。会場入り口の案内板に「サークル体験」と表示した。							
成果参加者の声など	公民館活動を知ってもらいよい機会となった。 参加団体12団体で23人の体験者がいた。							
課題と展望	各種団体の活動を活性化するための支援として、今後も続けるべきと考える。							

豊野地区 17

事業名 テーマ	公民館だより「とよの」の発行		対象	地区内全世帯		定員	印刷部数 6,500枚
ねらい	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。作成にあたっては、公民館に親しみを感じてもらえる情報媒体とする。						
協力機関 及び団体	豊野地区自治会連合会		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11
会場			教材 資料等				
実施までの経過	毎月上旬 原稿作成 毎月中旬 原稿校正 毎月下旬 印刷 毎月1日 発行		PR方法	市ホームページへ掲載			
			受付方法	掲載依頼は前月10日まで			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
毎月		公民館事業の案内など A4判両面刷り					
12回							
企画運営上の工夫	毎月の発行にあわせて、公民館だよりの割付案の段階で職員で打合せをする機会を設け、案を出しあい、地域住民に向けてより見やすく、わかりやすい、魅力ある紙面づくりに努めた。						
成果 参加者の声など	主催事業参加者へのアンケート結果によると、参加した方の多くが公民館だよりを見て情報を得たと回答しており、事業実施のうえで欠かせない広報手段となっている。						
課題と展望	来年度も毎月発行を継続し、事業の開催時期にあわせた広報に努め、地域住民に向けて公民館に親しみを感じてもらえるような紙面づくりを心がけたい。						

事業名	避難所開設訓練		対象	一般		定員	-	
ねらい	災害に備え、避難所の開設がスムーズに行われるように、地域住民と一緒に災害時の受付や避難所設営を体験する。							
協力機関及び団体	豊野地区自治会連合会 豊野地区災害対策協議会他		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4.11	
会場	①豊野地区公民館 講堂 ②牛島小学校		教材 資料等					
実施までの経過	危機管理防災課打ち合わせ 豊野地区災害対策協議会打ち合わせ 公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより 8月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布				
			受付方法	当日受付				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	計		
9月7日(土)	10:00~12:00	能登半島地震における避難所の 実態について 避難所開設訓練 関東大震災パネル展示	講義 体験 展示	26	8	34	危機管理防災課職員 	
12月7日(土)	10:00~12:00	とよのぼうさいまちづくり視聴 避難者受付訓練 避難所設営訓練	視聴 体験 体験	62	11	73	危機管理防災課職員 	
2回	4時間00分			88	19	107		
企画運営上の工夫	1回目は豊野市民センター、2回目は牛島小学校で行った。 なお、2回目は牛島地区と合同で行った。							
成果参加者の声など	初めて段ボールベット簡単にできて安定していて、すごいと思います。 具体的な話が聞けて大変勉強になりました。多くの人に知っていただければいいと思います。 体験談よかった。 今後の災害に対し大変参考になりありがとうございました。							
課題と展望	まだまだ、地区で災害を担当している方の出席が多いので、それ以外の方にも興味を持って参加してもらえようようにしたい。							